

社会福祉法人 小さな幸せの家 令和元年度 事業活動報告書

事業活動

小さな幸せの家（城川原）事業所

本年度よりグループホーム、デイサービス、短期入所、日中一時支援事業の各事業においての取り組みについて、各利用者の支援を進め利用日数の増加に努め、ある程度の成果を収めることが出来ました。今後とも新規利用者開拓を含め、生活介護の増加に努めていく所存であります。

グループホームについて（5室）

期を通して満室の状態であり今後も空室のないように努めて参ります。利用者（新規）の増加については数人の見学者があり、その中で3名の増加を見ました。

経費の削減にも取り組み、電力の商社への移管を行い、1割程度の削減になると思われま

す。（2月より）

事業経費の中で、人件費の適正化に努めることにより9月月次決算より少々の黒字を見るに至り、今後の事業展開が明るくなる事となっております。

利用者に対しての介護の取り組みについても、より安心、安全な介護に専念する事はもちろん、家族様に安心いただける施設として、今後も取り組んでいく所存であります。

施設としての行事について

毎月のボランティアによる演奏会、音楽療法、2階フロアにおける無料カフェも継続して行い、利用者の楽しみの1つとして行っております。

利用者数の推移については以下の通りであります。

城川原事業所

	利用者延べ人数	短期入所延べ人数	グループホーム（5室）
4月	361名	46名	5室(150名)
5月	382名	50名	5室(155名)
6月	338名	32名	5室(147名)
7月	346名	35名	5室(155名)
8月	348名	31名	5室(155名)
9月	356名	42名	5室(150名)

10月	344名	34名	5室(148名)
11月	345名	38名	5室(155名)
12月	230名	37名	5室(155名)
1月	313名	40名	5室(155名)
2月	322名	46名	5室(145名)
3月	336名	38名	
合計	4021名	469名	

小さな幸せの家 いみず事業所

グループホームについては期を通して満室で推移致しました。当施設の地域密着型通所介護・共生型生活介護（要介護者、障害者）としての役割を通して要介護者の、通所利用者の獲得に苦戦しております。例えば契約をしても早期に入院されたり、死亡されたりと、なかなか定着することが難しい面もあり、今後どのような対策をとるか検討課題として令和2年度に考えたいと思います。（障害者の生活介護（通所）にシフトすることも大切であると考え今後の取り組みの一環としております。）

利用者への取り組みとして、安心、安全はもちろんの事、利用者家族にも安心頂けるように努めております。地域密着型施設として、11月には昨年に引き続き、地域住民感謝祭として第2回目を開催いたしました。今年度は大鍋による、なべ祭として太閤山16丁目自治会と協力し利用者を合わせて70名様参加をみました。来期においても（高岡アラート・ライオンズメンバーの協力）3回目をやることにしております。

その他、月4回程度の会食を含む各方面へのお出かけも継続して行っております。

利用者の推移については下記の通りであります。

いみず事業所

	予防介護・地域密着型通所介護 共生型生活介護利用者延べ人数	グループホーム
4月	122名	6室
5月	121名	5室
6月	126名	5室
7月	136名	6室
8月	130名	6室
9月	119名	6室

10月	132名	6室
11月	121名	6室
12月	113名	6室
1月	120名	6室
2月	100名	6室
3月	103名	6室
合計	1443名	

以上、報告致します。

社会福祉法人 小さな幸せの家
理事長 山本 始